



エスビック株式会社

「新たな都市空間の創造」と
「豊かな住環境の提供」を実現し
より多く社会貢献を



高崎市

住 所・・・高崎市綿貫町1729-5
TEL・・・027-384-4190
URL・・・<https://www.s-bic.co.jp/>
代表者・・・柳澤 佳雄
設 立・・・1953年8月27日
資本金・・・100,000千円
従業員・・・385名

WEBサイト



事業者紹介

当社は創業73年の歴史と、業界トップクラスの生産・販売力を持つコンクリートブロックメーカーです。エスビックグループでは、コンクリートブロックやエクステリア商品の開発・製造・販売・物流までを一貫して手がけています。

エスビックは、「快適な夢のある生活環境」を提供することで、人々をわくわくさせ、社員が誇りをもち安心して働ける会社を目指します。

当社では持続可能な社会に向けて、以下の3つの分野で取組をおこなっています。

- ①社内環境と社員の豊かさの向上への取組
- ②災害に強く、安心・安全に暮らせるまちづくり
- ③循環型社会への貢献

経緯・背景

コンクリート製品のCO₂排出量は、セメント製造時のCO₂排出量による影響が大きいため知られていました。この避けて通れない課題に取り組むべく、サプライチェーン排出量の算定を行いました。

2022年9月、エスビックはコンクリートブロック業界で初めて「中小企業SBT」認定を取得しました。

エスビックは温室効果ガスの排出量（Scope1とScope2の合計値）を、2030年に2018年度比50%削減を目標に設定し、全社で取り組んでいます。

循環型社会の実現に向けて エコセメント等の積極的利用 廃棄物リサイクルも導入

具体的な取組・成果

- ・安全運転励行を目的とした運行管理システムを導入した結果、急加速・急減速などの減少により、交通事故発生件数が減少しました。また、低燃費車両導入と併用し、平均燃費が約37%向上しました。
- ・社外のエクステリア施工業者やセールスエンジニアに対し、正しい施工知識の教育を行っています。
- ・ブロックの原材料として、ゴミの焼却灰をケミカルリサイクルした「エコセメント」を積極的に使用。2023年のエコセメント使用量は約24,000tで、これは約100万人が1年間に出すゴミを再利用していることに相当します。
- ・鉄製造時の副産物である「高炉スラグ微粉末」をセメントの一部と置換して使用。2023年には約18,000tの高炉スラグ微粉末を使用し、約13,000tのCO₂排出量を削減しました。また、一部の製品には熔融スラグ骨材（一般廃棄物の焼却灰から作られた再生骨材）を使用しています。
- ・雨水を地下浸透する「透水性インターロッキングブロック」により、集中豪雨の冠水抑制に寄与しています。
- ・芝などを植生させて緑の面積を増やす「植生用インターロッキングブロック」により、地表面の温度上昇を抑制しています。



- ・自家消費型太陽光システムを自社工場の屋根に導入。今後も他の工場や自社施設に順次導入していく予定です。

- ・環境への取組を行ってきたことでエスビックの製品は、CO₂排出量を削減できています。例えばあるコンクリートブロックでは、同じ重さの一般的なセメント製品と比較して、CO₂排出量を約60%削減できています。



当社にとってのSDGsビジョン

気候変動に具体的な対策を施すことで、住み続けられるまちづくりが実現でき、快適な夢のある生活環境を提供することで、人々をわくわくさせ、社員が誇りをもち安心して働ける会社を目指します。

そのために社員一人一人が現場レベルで取り組むことを考え、環境も社会も経済もより良くしていく運動に邁進します。

今後の展望と求めるパートナー像

エスビックでは、持続可能な社会に向けて環境に配慮した製品を生産しています。当社では、事業活動における温室効果ガスの排出削減を最重要課題として位置づけ、CO₂排出量の削減に全社で取り組んでいます。脱炭素社会、および炭素循環型社会の実現のため、技術・製品開発に取り組めるパートナーを求めています。